

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

■学修領域（教育分野）

- ①経営システム
- ②生産システム
- ③情報メディアシステム

■カリキュラム編成の基本方針

現代のマネジメントは、インターネットをはじめとしたネットワーク上などの、身の回りに存在する種々様々で膨大な情報を自由自在に扱い、企業などの経営戦略への確に活用することが求められる。本学科では、経営学・マネジメント分野における課題発見、探求力、実行力の素養を持った技術者を育成するため、情報工学に基づく意思決定手法に関する学際的教育を行う。

■年次別科目の配当方針

1年次には、専門科目を理解する上で必要な数学的素養を身に付ける。さらに、経営管理、生産管理、情報メディアに関する基礎知識とコンピュータリテラシーを修得する。また、グループでの討論、協働に必要なコミュニケーション能力、自分の考えの発信をするために必要なプレゼンテーション能力を養成する。

2年次には、経営管理、生産管理に関する専門知識を学ぶとともに、コンピュータのソフトウェアの知識と情報処理、情報メディアに関する技術を修得する。

3年次には、経営、生産、情報メディアの3つの修学領域の統合的な応用法・活用法を習得するため、情報処理の応用技術を学び、経営、生産に関するデータの解析やシミュレーションを実践する。さらに、研究室に配属し、卒業研究の遂行に必要な専門知識を得る。

4年次の卒業研究では、これまでに培った課題発見、探求力、実行力などの素養を発揮し、問題発見から問題解決に至るまでの意思決定手法を実践する。

■学修成果の評価の在り方

シラバスにより各授業科目の学修内容、到達目標、成績評価の方法や基準を周知し、それに則した成績評価を行う。2年次および3年次終了時に進級判定を行い、4年次終了時には卒業研究論文および卒業研究発表をディプロマ・ポリシーの各項目の修得と達成度合いに基づき総合的に評価し卒業判定を行う。